

お手入れ方法

使用後は、すぐにお手入れしてください。
お手入れするときは、柔らかいスポンジで行ってください。

本体(外側・内側)のお手入れ

本体は食器用洗剤を薄めたぬるま湯でやわらかいスポンジ・フキンで洗った後、水洗いしてください。水分をふき取り、十分に乾燥させてください。

ふたユニット

ふたユニットは丸洗いができます。やわらかいスポンジで洗った後、水洗いしてください。水分をふき取り、十分に乾燥させてください。

パッキン

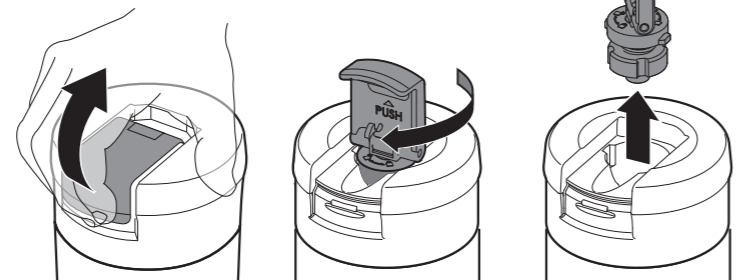
パッキンの洗浄後は乾いた布で水分をふき取ってください。劣化、ひび割れ、損傷がみられる場合は使用せずに交換してください。

△ お手入れ上の注意

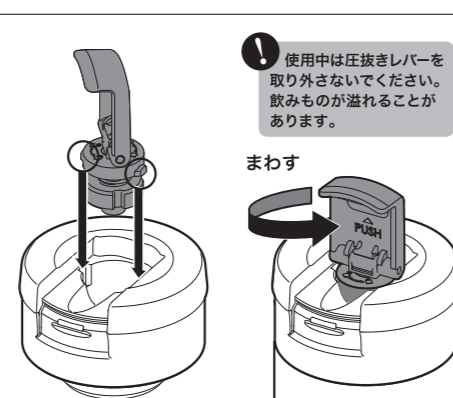
- ご使用後は、すぐにきれいに洗ってください。
お手入れが不十分だと、におい、汚れ、パッキンの変色の原因となるおそれがあります。
- 本体を洗った後は、すぐに水分をふき取ってください。
水滴の跡が残ったり、サビやものを汚す原因となります。
- シンナー、クレンザー、金属たわし、化学雑巾などは使用しないでください。
キズやサビ、破損の原因になります。
- 本体やふたユニットの煮沸、及び食器洗浄機や食器乾燥機などは使用しないでください。
変形や漏れの原因になります。
- 塩素系漂白剤は使用しないでください。
サビ、破損の原因になります。
- 本体・ふたユニットは浸け置き洗いなどはしないでください。
- ふたユニットを本体に取り付けたままお手入れしないでください。
お手入れの際はそれぞれ取りはずした状態でおこなってください。
- 長時間ご使用にならない場合は、汚れをきれいに洗い落とし完全に乾燥させてから清潔な場所で保管してください。

圧抜きレバーのお手入れ

圧抜きレバーは圧抜きする際に飲みものが触れることがありますのでご使用後にお手入れをし、清潔にしてください。



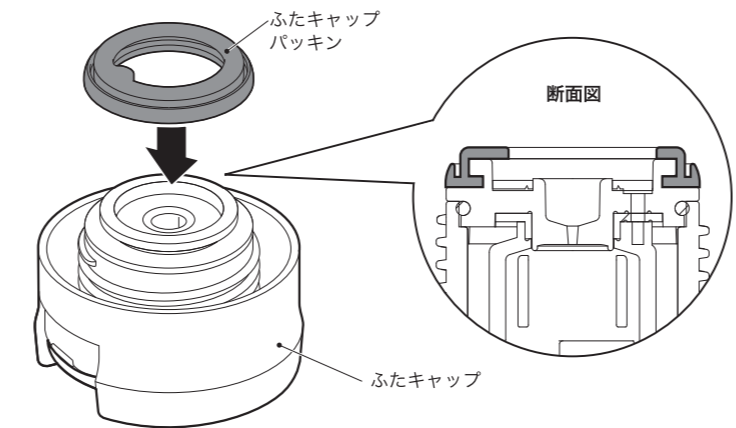
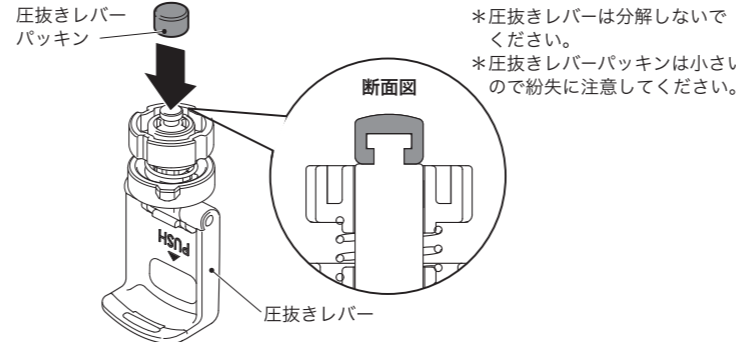
- ① 圧抜きレバーを起します
- ② 圧抜きレバーを回しロックを解除します。
☞ ロック解除の方向(時計回りに回します。)
- ③ 圧抜きレバーを引き抜き、洗浄します。



- ④ 圧抜きレバーを取り付けます。圧抜きレバーとふたキャップの凹凸を合わせます。
- ⑤ ロックして完了。嵌め込んだら反時計回りに回しロックします。

パッキンの取り付け方

お手入れ後、パッキンを正しく取り付けてください。
取り付けが不十分だと、漏れる可能性がありますのでしっかり取り付けてください。また、ご使用前にもご確認ください。



注意:パッキン位置、形状が異なることが御座います。現物の確認をお願いします。

赤い斑点・ザラザラが付着した場合

ボトル内側にサビのような赤い斑点や、ザラザラしたものが付着した場合には...

サビのような赤い斑点ができた場合

水に含まれる鉄分などが付着したものです。食酢を10%程度入れたぬるま湯を本体に入れて、30分ほど放置した後、柔らかいスポンジブラシなどで、内びんの内壁をよく洗ってください。食酢が残らないようにきれいな水でよくすすいでください。

ザラザラしたものが付着した場合

水に含まれるカルシウムが付着したものです。クエン酸を10%程度入れたぬるま湯を本体に入れて、ふたユニットを取り付けず、3時間程放置した後柔らかいスポンジブラシなどで、内びんの内壁をよく洗ってください。クエン酸が残らないようにきれいな水でよくすすいでください。

製品仕様

品名	ステンレス製携帯用魔法瓶	*保冷効力とは室温 20℃ ±2℃において製品に冷水をふたユニットの下端まで入れ、水温が4℃ ±1℃になった時、ふたユニットをして縦置きにした状態で6時間放置した場合におけるその水の温度です。	MADE IN CHINA
本体	内びん/ステンレス鋼 口金/ステンレス鋼		
ふたキャップ	ポリプロピレン		
圧抜きレバー	ポリプロピレン		
パッキン	シリコーンゴム		
実容量	0.39L / 0.56L		
保冷効力	9℃以下 (6時間)		

交換部品

●ふたユニット、パッキンは消耗品です。1年を目安に傷、損傷などが無いかを確認し不具合がある場合は使用を止め、部品交換してください。

交換部品のご購入はこちらから
アトラスオンラインショップ
<https://www.atlasonline.jp>

お問い合わせ

品質には万全を期しておりますが、万一不具合があった場合はご使用にならないで、お問い合わせの販売店または下記お客様相談窓口までご連絡ください。

表示者 株式会社アトラス
〒192-0906
東京都八王子市北野町549-1第2石坂ビル

お客様相談窓口
TEL.042-660-8870
受付時間/9:00~18:00 月~金曜日(祝日・弊社休業日を除く)
<https://www.atlas-scm.jp/>

Atlas 真空断熱炭酸用ボトル 取扱説明書

保冷専用

このたびは、当社のステンレスマグボトルをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。ご使用になる前に、この説明書を最後まで必ずお読みいただき、正しく安全にご使用いただきますよう、お願いいたします。また、本書は、万一ご使用中にわからなくなったときにお役に立ちますので、いつでもみられるところに大切に保管してください。

SPARX ASOC-390/560

⚠ ふたユニットを閉める際は最後までしっかりと閉めてください。

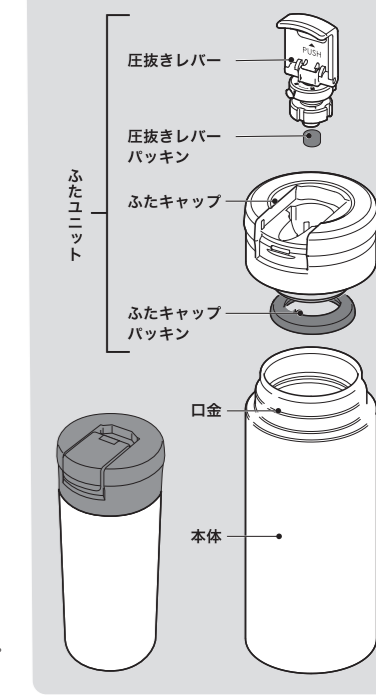
- 本品は保冷に優れた、「真空二重構造」ボトルです。
- 本品は炭酸対応ボトルですが、ビールなどのアルコール類、炭酸の強いものは泡が溢れることがありますので注意してください。

ご使用前に

- はじめてご使用になる前に本体のキズ・凹み、ふたユニットのひび割れなどの不具合がないことをご確認ください。
- 底面の製造ロットシールは、はがさないでください。
- はじめてご使用になるときは、本体内側・ふたユニットを食器用洗剤をつけたスポンジなどでよく洗ってください。

*説明中のイラストは実際のものと異なる場合があります。また品質向上・改良のため、予告なく仕様・デザインなどを変更することがありますのでご了承ください。

●各部のなまえ



ご使用上の注意 【警告】

- 注意**
- 本品は保冷専用ボトルです。温かい飲みものは入れないでください。熱いものは絶対に入れしないでください。やけど、変形の原因になります。
 - 乳幼児の手の届くところには置かないでください。
 - 本品は炭酸対応ボトルですが、ビールなどのアルコール類、炭酸の強いものは泡が溢れることがあります。圧力によっては漏れることがあります。カバンなどに入れる前は特に注意してください。
 - 飲みものの保冷目的以外では絶対に使用しないでください。
 - 高温になる場所(サウナなど)や寒冷な場所でご使用にならないでください。

●飲みものの量は、取扱説明書5ページ右の図を参考にしてください。入れすぎるとふたユニットが開かなくなったり、閉めたときに飲みものが溢れ出す原因になります。また、使用中に漏れ、ものを汚す原因になり危険です。

●ストーブやコンロなど火気のそばに近づけないでください。また、火中に投げたり、ストーブの上に置くこともお止めください。やけどの危険、または火花が飛び危険です。ケガや事故、破損の原因になります。

●大きな氷を入れる場合は氷は押し込まず、小さく砕いて入れてください。

●電子レンジで加熱しないでください。火花が飛び危険です。ケガや事故、破損の原因になります。

●冷凍庫には入れないでください。

●本体の口金・飲み口に熱いやかんなどをあてないでください。口金・飲み口の変形・キズ、転倒してやけどなどの原因となり危険です。

●飲みものを入れた状態で本体を逆さまにしないでください。

●ビールなどのアルコール類、炭酸飲料は冷蔵庫でよく冷やしてから入れてください。飲みものの温度がぬるいと炭酸が抜けたり、噴き出しやすくなります。

ご使用上の注意

- 次のものは絶対に入れしないでください。
 - ドライアイス (内圧が上がリ、ふたユニットが開かなくなったり、飲みものが噴き出したり、ふたユニットが破損して飛散することがあり危険です。)
 - 牛乳・乳製品・果汁など腐敗しやすいもの (成分の腐敗や変質の原因になります。そのまま長く放置した場合、腐敗などによりガスが発生して内圧が上がリ、ふたユニットが開かなくなったり、飲みものが噴き出したり、ふたユニットが破損して飛散することがあり危険です。)
 - みそ汁、スープなど、塩分や酸を多く含むもの (本体内側にはステンレス鋼を使用していますが、塩分や酸によりサビの原因になります。)
 - お茶の葉・果肉 すきまなどにつまり、漏れてものを汚す原因になります。

●においの強いものを入れると、本体やパッキンにおいが残る場合がありますが、品質上問題はありません。お手入れのしかたに従って汚れやおいを落とす後、十分に乾燥させてください。

●飲みものを入れた状態で長く放置しないでください。成分の腐敗や変質の原因になります。そのまま長く放置した場合、腐敗などによりガスが発生して内圧が上がリ、ふたユニットが開かなくなったり、飲みものが噴き出したり、ふたユニットが破損して飛散することがあり危険です。

●お茶などは早めにお飲みください。長時間保存するとお茶の色や味が変わります。

●スポーツ飲料を入れた時は、使用後すぐにお手入れをしてください。においの付着やサビなどの原因になります。

●ふたユニットを閉めるときは、本体を傾けたり揺らさないでください。飲みものが溢れ出す原因になります。また漏れて、ものを汚す原因になり危険です。

●ふたユニットが確実に閉まっていることを確認してください。閉め方が不十分ですと、傾けた場合飲みものが漏れ、ものを汚す原因になり危険です。

●製品の構造上、湿度が高いときにふたユニットに水滴がつく場合があります。ご注意ください。

●炭酸飲料を入れた状態で横置きにしないでください。

●改造・修理・分解は絶対にしないでください。破損、事故の原因となり危険です。

●ぶついたり、落下などの衝撃を避けてください。変形や割れ、保冷不良の原因になります。またふたユニットの破損原因になります。衝撃が加わった場合、しばらく時間を置いてからゆっくりとふたを開けてください。

●運転中は危険ですので使用しないでください。車内や衣服を汚す原因となり危険です。また、運転者の場合は運転への注意が散漫になり非常に危険です。ドリンクホルダーに入れる場合は、あらかじめホルダーの強度を確認してからご使用ください。強度や固定が不十分ですと破損したり、外れて落下のおそれがあり危険です。

●車内や直射日光の当たる場所など、高温になるところに長時間放置しないでください。飲みものの温度が上がリ、圧力上昇により飲みものが噴き出してものを汚す原因になります。

●持ち運ぶ際、次の点を必ず守ってください。持ち運ぶ際は、ふたユニットをきちんと閉め、ふたユニット部分を持って運ばないでください。

●バッグなどに入れるときは、本体を縦に置いてください。万一の漏れを防ぎます。

●飲み終わったら、本体を立て、ふたユニットを確実に閉めてください。本体を傾けたりして飲みものが漏れないことを確認してください。

●パソコン・デジタルカメラなどの精密機器と一緒に持ち運ぶのはやめてください。万一、内容物が漏れた場合、精密機器の、破損の原因になるおそれがあります。

●炭酸飲料を入れている時は故意に振らないでください。ボトル本体の圧力が高くなりすぎて危険です。破裂するおそれがあります。

●炭酸飲料に氷を入れると炭酸が早く気化します。ご注意ください。

●本品に異常、変形がみられる場合は絶対に使用しないでください。

●開栓時は圧抜きレバーで圧抜きをして、ゆっくり開けてください。炭酸を入れている場合は、本体内部のガスの圧抜きをしっかりとこなしてください。

ご使用方法

ご使用前に

- はじめてご使用になる際は、食器用洗剤でよく洗ってからご使用ください。
- 製品にガタつき、破損がないか確認してからご使用ください。不具合があった場合、使用しないでください。
- あらかじめ、本体に少量の冷水を入れ、1分程度置き、予冷してから入れ替えると保冷に効果的です。

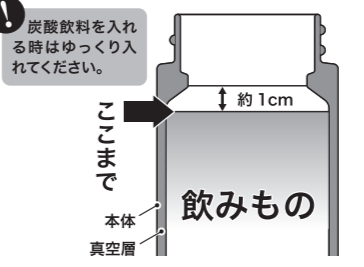
1 ふたユニットをはずす

①ふたユニットをはずす。



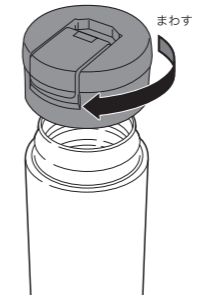
2 飲みものを入れる

飲みものの量は、下図の➡部までに入ってください。入れすぎた場合は、減らしてから、ふたユニットを閉めてください。

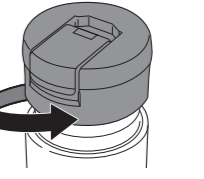


3 ふたユニットの取り付け

ふたユニットを取り付けます。*緩みの無いようにしっかりと取り付けてください。また、パッキンの付け忘れのないように注意してください。



4 飲みものを飲む (炭酸飲料ではない飲みもの)

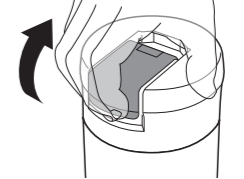


ふたユニットを開けて、飲みものを飲んでください。*飲み口に残っていた水滴が飛散することがありますので、ご注意ください。

飲み終わったら本体を立て、ふたユニットを閉める。*緩みが無いようにしっかりと取り付けてください。

5 飲みものを飲む (炭酸飲料の場合)

①圧抜きレバーを起こします



②短く数回押します。



衝撃や振動により中の炭酸の圧力が上がっている場合がありますので、圧抜きをしてからふたユニットを開けてください。

- ①圧抜きレバーを起こします。
- ②圧抜きレバーを押し込みます。この時、一度に圧抜きレバーを押し切らずに、ゆっくり様子を見ながら数回押してください。*圧抜きはボトル本体を立てた状態でおこなってください。*ビールなど泡の多いものを入れた時にボトルを振ったり、衝撃を与えてしまった時は泡が溢れることがあるので、しばらく時間を置いてから圧抜きをおこなってください。*お手入れ以外では圧抜きレバーを取り外さないでください。
- ③圧抜きをおこなったら、ふたユニットをゆっくり開けてお飲みください。

③開けて飲みます。 ④しっかりと閉めます。

